

苫小牧市立清水小学校学校便り

清水の子



『未来を創造する
清水の子の育成』
◇学びを広げる子
◇思いやりあふれる子
◇たくましさみなぎる子

TEL 33-7285

Eメール simizu-
es1@hokkaido.school.ed.jp

第 10 号 令和4年12月23日発行

笑顔あふれる冬休みに！

今年も残すところ、あと約1週間となりました。学校では、本日、1年間で最も長い2学期の終業の日を迎えています。

2学期は、6年生の修学旅行や各学年の見学学習のほか、大きな行事である学芸会がありました。子どもたちは、これらの行事で自分の目標を決めて努力することや活動を通して友達と協力することを学び、一回りも二回りも成長しました。

さて、明日から冬期休業に入ります。子どもたち一人一人が、有意義で充実した日々を過ごせるよう、地域・ご家庭の皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

子どものよい面を見いだす冬休みに！！

子どもの発想は無限です。また、大人には思いつかない豊かさや面白さがあります。そういう子どものよさを見だし、「よかったよ」とプラス評価の声かけをすることが、その子の意欲につながり、自立心や向上心を育てます。子どもたちは、長い冬休みを充実した時間とするために、目標や計画を立てています。計画通りに進まないこともあるかもしれませんが、冬休みの生活の中で、よい面・よいところをたくさん評価してあげてください。

ふれあいが楽しいと思える冬休みに！！

子どもの心の安定には、そこに自分の居場所があることが必要です。学校では、自分を理解してくれる友達や先生がいること、地域・家庭では、大切な一員として自分を認めてくれる人たちがいることです。地域・家族とのふれあいの中から、自分は「地域・家族の役に立っている」「自分の存在は重要だ」という芽生えが、子どもたちの意欲をかきたてます。冬休みの間には、大晦日、お正月などがあります。様々なふれあいをとおして、自分の存在を実感できる冬休みにしていただきたいと思います。

保護者・地域の皆様には、今年一年、本校の教育活動にご理解ご協力を賜り、ありがとうございました。

皆様、よいお年をお迎えください。そして、令和5年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

